

国会議員らに「万全な対策」を強く要請 基本農政確立集会



ガンバロー三唱で要請実現へ氣勢をあげる参加者

J A岩手県中央会は9月18日、基本農政確立岩手県J A代表者集会を開きました。県内の生産者など約千人が集い、米の緊急需要調整対策や戸別所得補償制度について国会議員らに強く要請。同会の長澤壽一会長は「水田農業の将来が心配。次世代に安心して引き継げるような万全な対策を講じてほしい」と訴えました。



なはんプラザに開局した「FM One」放送局

花巻市にラジオ局が開局 J A情報や災害情報を発信

えふえむ花巻(株)

花巻市を放送エリアとするコミュニティFMラジオ局が9月1日、花巻市大通り1丁目のなはんプラザに開局しました。放送局の愛称は「FM One」で、周波数は78.7MHz。市やJ Aをはじめ70以上の団体と個人が出資する「えふえむ花巻(株)」が運営しています。

花巻市は、地域住民に発信する災害情報などを瞬時に網羅できる手段がなかったことから、緊急情報の伝達方法として地域内情報も共有できるコミュニティFMに着目。平成18年から研究会などを立ち上げるなどして準備を進めてきました。8月31日には同局と市が「災害時における緊急放送に関する協定」を締結。開局後は試験放送を経て、9月6日から本格放送を始めました。当面の放送時間は午前6時から午後9時まで。行政情報をはじめ地域住民の暮らしに密着した情報が発信されるほか、J Aは毎週月(金曜日)の午前7時30分から5分間、営農情報や生活情報などをメインにさまざまな情報を伝えます。

現在は、胡四王山に主送信所(20W)を設け同市と紫波町の一部14、550世帯をカバー。年内に中継所を順次整備し最終的には市全域をカバーする予定。浅沼幸二代表取締役は「ラジオを通じて住民の心のライフラインとなるよう、市民に愛されるFM局をめざしていきたい」と抱負を語ります。

子豚生産施設が遠野市に完成

北日本J A畜産(株)・本社農場



左から交配舎、妊娠ストール舎、分娩舎1棟と小豚舎2棟

北日本J A畜産(株)は9月27日、遠野市附馬牛町に完成した小豚生産農場「本社農場」の竣工式典を行いました。養豚施設は繁殖用の親豚を常時1,200匹飼育し、年間2万7,800匹の子豚を生産する計画です。子豚は肥育農場などで育てられ出荷されます。式典に参加した約60人は、稼働の無事を願いました。

ぼらの情報室 TOPICS

雑穀の特性に認識を深める

雑穀セミナー

国内最大規模の雑穀産地である花巻市で9月7、8日の両日、県産雑穀のPRと販路拡大を狙った「雑穀セミナーinいわて」が開かれました。初日は当J A営農推進部の阿部勝昭部長をコーディネーターに、有識者5人のパネリストによるパネルディスカッションが展開されたほか、最終日は栽培現場や加工と乾燥調整施設を視察しました。

卸・小売業者やマスコミなど全国から訪れた参加者は、2日間の講演や交流会で雑穀栽培について情報を交換。生産体制や販売戦略、品種の特性などについて認識を深めました。



実際に触れながら生産現場を視察する参加者

30年の歩み走馬灯のように蘇る 「二子さといも生産組合」

北上市二子地区の農家を中心に構成する二子さといも生産組合が、設立30周年を記念する式典を9月8日、J A二子支店で開きました。

式典には組合員のほか、J Aや行政機関、市場などから約80人が出席し、これまで歩んできた30年を振り返りながら、八重樫忠正組合長が「悪戦苦闘した日々や歴代組合長との思い出な



▲「近隣にエリアを拡大し、いずれはブランド登録まで発展させたい」と語る八重樫組合長



▲歴代の組合長らに感謝状と記念品を贈呈

◀組合員が生産する、まろやかな味わいと粘りが特徴の「二子さといも」



★ご自身とご家族の保障

人身傷害保障／搭乗者傷害保障／
歩行中等自動車事故傷害保障／介護・自立支援費用保障

★相手方への保障

対人賠償(無制限)／対物賠償(無制限)／
対物超過修理費用保障特約

★お車の保障

車両保障(全損害担保)／車両諸費用保障特約

●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>
サンキューふれあいキャンペーン実施中！ <http://www.3qja.jp>

10481050204

家庭用自動車共済
フルマスター
★★★★

確かな保障で、
安心のドライブを。